



審査シート

ジェルリフォームコンテスト2024

エントリー番号

5-1-0204-1

タイトル

連棟長屋のポケットリビング

応募部門：下記よりひとつを選んで◎を入れてください

- 戸建て全面
- マンション全面
- リビングダイニング
- キッチン
- サニタリー
- 個室
- 外まわり
- 玄関・ホール

基本情報

邸名	T邸		築年数	51年	構造	木	造	2	階建
該当部分工事費	1,600	万円	総工事費	1,600	万円	建築確認申請の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	
増築面積	0.00	m ²	減築面積	0.00	m ²	居住者	15歳未満	人	15歳以上65歳未満
改装面積	48.27	m ²	※増築・減築の面積を除く		構成	65歳以上	人	ベットの	1
建物の履歴 (自宅、中古購入、空き家活用などの情報)	<input checked="" type="checkbox"/> 施主の居宅		20	年居住	<input type="checkbox"/> 空き家または中古住宅の活用				
所在地	都道府県	京都府	市町村	京都市南区	完成年月日	2023年11月			

施主様ご要望：リフォームの動機(140字程度で)

京都市内の住宅密集地に位置する連棟長屋中央の1住戸を改修工事しました。冬季の底冷えと築年数から内装が傷んでいることに気苦労されており、打合せの中で断熱改修、白蟻被害状況の確認、内外装の改修、各種設備の入れ替え、将来を踏まえて単身での現代的な生活にあった間取りの変更を望まれていました。

プラン決定のポイントと工夫(140字程度で)

設計・施工の工夫点、住宅価値を向上させた内容など
小さな玄関とリビングを中心に各種機器・機能が壁際に配置される従来の長屋のプランに対し、1階は機能室を3つの区画にあて分け、素材感ある木板仕上を施した壁で囲いました。それらの間に天井高さの高い居場所を計画し、小路から引き込まれた先にあるポケットリビングとして、落ち着いた「間(あいだ)」に住まうことを提案しました。

施主様ご感想：満足度など(140字程度で)

冬季の底冷えが緩和され、暖房の効率が良くなったように感じられること、内装を白色で統一しながらも、自然素材の温かみや素材感が感じられること、自身の生活に合った機能性と将来にも整えられたこと、狭小ながら奥行きがあり、3つ続いた可愛いR型開口がアクセントとなっていること等に満足感を持たれています。

性能向上の特性 (複数選択可)

- 劣化対策
- 耐震性
- 維持管理
- 可変性
- 省エネ
- バリアフリー

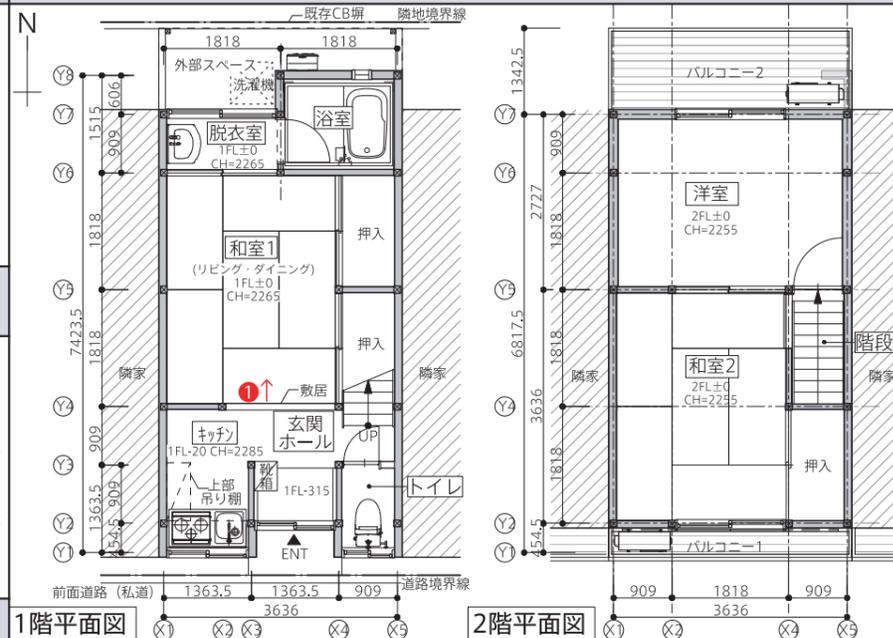
選択した性能向上の特性で特に配慮した点(50字程度で)

断熱補強／白蟻被害部分への構造材補強／自主で維持管理可能な調湿性能のある漆喰仕上を採用／将来利用を想定した間取り／加齢を見越した照度設計と調光の採用

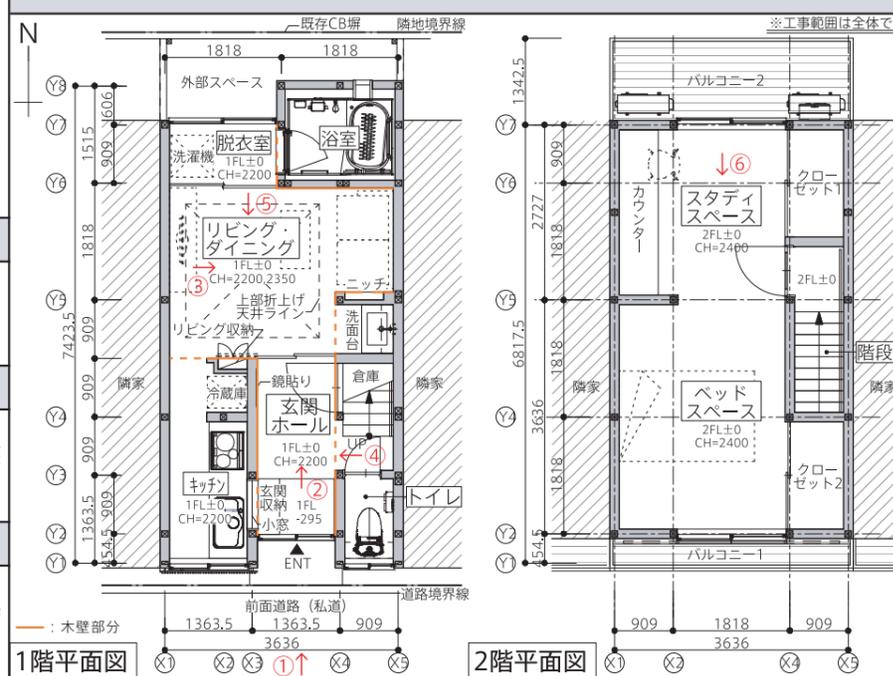
性能向上で、準拠・参考にした数値 (性能表示の等級など)

(※わかれば改修前の性能数値と改修後の性能数値を記入)
ZEH基準の外皮平均熱貫流率(UA値)に準拠しました。京都市(6地域)でのUA値0.60W/m²Kに対して0.53W/m²Kの計算結果を得ました。

リフォーム前の平面図



リフォーム後の平面図



①和室 ©吉松 宏樹



①街並みを保存した外観 ©大竹 央祐

リフォーム後の写真 (作品テーマ、工事内容が明確に分る内容の写真。写真4枚程度) 以下写真： ©大竹 央祐



②玄関ホール(奥まったリビングを見通す)



④木の質感に囲まれた玄関ホール



⑤玄関ホール・キッチン方向を見通す



③住宅密集地の中で籠れるリビング・ダイニング



⑥スタディスペース・ベッドスペース